

## 平成26年度日本赤十字社診療放射線技師会 学術専門部事業報告

平成25年度より学術専門部が発足した。この経緯は、技師会活動の一環として  
会員の学術および技術向上を目的とするものであります。

特に赤十字職員間の横断的教育の達成とそれによる技術、業務の均一性を図ることが重要であります。そこで、技師会としてホームページの刷新を行い、このツールを用いて技師職員の活性化に繋がることを期待いたします。そのために、現在6部会の組織編成を行いIT事業部の協力を得て、全国施設職員より登録を行いました。

部門においてはアンケート実施を行い、分析結果を発信する方向である。そして、各専門部は連絡体制の確認を行い、次年度に向けて全国施設の部員状況の把握を図った。

### 1. 平成26年度 学術専門部世話人会議

平成27年2月14日（土）13：00～17：00

日本赤十字社 101会議室

出席者 専門部世話人 16名

理事 5名

### 議事内容

- ① 登録状況の報告
- ② 各専門部名簿作成 : 各部門世話人へ配布
- ③ ホームページ活用方法 : IT理事による説明を行った
- ④ その他

専門部世話人および担当者登録内訳；担当者登録施設数 56 施設（平成27年3月1日現在）

	世話人（人）	担当者登録	
		登録数（人）	該当なし施設数
CT	4	56	0
MRI	3	53	3
放射線治療	4	35	21
乳房撮影	4	53	3
核医学	4	44	12
医療情報	3	53	3

2. 世話人および担当者登録の状況（平成 27 年 3 月 1 日現在）

	施設数	世話人		担当登録施設数	
		人数	割合	人数	割合
全国	95	22		56	59%
北海道	10	0	0%	6	60%
東北	6	1	5%	4	67%
関東	19	8	36%	13	68%
中部	20	4	18%	13	65%
関西	14	5	23%	9	64%
中国四国	15	3	14%	7	47%
九州	11	1	5%	4	36%

- 世話人は、関東・中部・関西の 3 ブロックが 75%程度を占めている。
- 担当者登録は、56 施設であり、中国四国および九州ブロックの登録率が低い。

以上のことより、分科会活動の活性化を図るため、分科会組織の充実と強化を目的とし、技師会 HP の有効活用および登録施設数の増加を目指す。